〔記入の留意点〕

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 記入方法及び留意点 |
| 「様式第4－3」の該当施設 | 介護老人保健施設、介護医療院、老人福祉施設、高齢者住宅等 |
| 報告書作成月及び提出について | （１）６月分を作成する（２）７月１９日までに姫路市保健所へ提出する（メール提出）提出年月日を記入する |
| 保存期間 | ３年 |
| 施設名・所在地 | 　当該給食施設の名称、所在地、電話番号、FAX番号、設置者の役職・氏名、報告書作成者の部署・氏名、施設E-mailアドレスを記入する |
| 高齢者住宅チェック欄 | 　サービス付高齢者住宅などの高齢者住宅に該当する場合は選択する |
| 定員・在籍者数 | 　入所・短期入所・通所、それぞれの定員人数、在籍者数を記入する　なお、在籍者数については６月１５日現在の人数とする |
| 施設管理者名 | 当該給食施設の施設管理者名を記入する |
| 給食責任者名 | 当該給食施設の給食責任者名を記入する |
| 施設栄養士名 | 当該給食施設の栄養士名を記入する資格、勤務形態について該当する項目を○で囲む非常勤職員も記入する。兼務の場合は、空欄に出勤日数を分かるように記入する長期休暇中（育休・産休等）の場合はその旨が分かるように記入する |
| 給食運営状況 | （１）給食の運営状況（直営・委託）について、該当する項目を選択する（２）委託の場合は委託内容の該当する項目を選択し、委託業者名、本社の所在地、℡、委託先責任者名、委託先栄養士名及び巡回状況等について記入する |
| 給食従事者数 | 当該給食施設において、給食関係業務に従事している人数を、所属別（施設／委託）、職種別、勤務形態別（常勤・非常勤）に記入するなお、ここでいう職種とは職務内容によるもので、資格を有しているかどうかではないため注意してください（栄養士の資格があっても調理員として勤務している場合は調理員等に計上する） |
| 時間 | 　朝食、昼食、夕食、その他の食事提供時刻を記入する |
| １日平均食数 | １か月平均の１日当たり食数について、利用者と職員に分けて記入する |
| 給食材料費 | 　１か月平均の１人１日当たりの材料費を、一般食、療養食、職員食に分けて記入する |
| 栄養摂取状況 | （１）作成対象は一番提供数の多い食種とし、対象区分または対象年齢区分を記入する（２）施設基準の作成年月を記入する（３）栄養素別、食品群別に１人１日当たりの目標量及び給与量を記入する　　　ただし、目標量について、幅で設定している栄養素の場合は幅で記入しても差し支えない（４）炭水化物エネルギー比は、炭水化物由来のエネルギーの全エネルギーに占める割合を記入する（５）たんぱく質エネルギー比は、たんぱく質由来のエネルギーの全エネルギーに占める割合を記入する（６）脂質エネルギー比は、脂質由来のエネルギーの全エネルギーに占める割合を記入する（７）食品群別の目標量は、栄養素別目標量を給与するために施設内で設定した量を記入する。ただし、他の食品群の中に含めている、または食品群として設定していないなど群別の分類が異なる場合は、その内容がわかるように記入する　　（例）みそを大豆製品として区分：大豆・大豆製品及びその他豆類にみそを含めた量を記入し、備考欄にその旨を記入する　　　　 みそを調味料として区分 ：調味料として区分している旨を記入する（８）使用中の日本食品標準成分表の版について、該当する項目を選択する |
| 療養食食数 | 　療養食を提供している場合は、提供している療養食の食数を記入する　記載の療養食以外を提供している場合は、項目を訂正して記入するかその他欄に記入する |
| 栄養指導 | 　“栄養指導”の各項目については、６月の実績を記入する（１）指導方法別に、指導対象を選択し、１か月の指導延べ人数を記入する退所者の指導は、「入所者」として記入する（２）訪問指導を実施した場合は、個別指導欄の訪問栄養指導を選択し、指導延べ人数に加算して記入する（３）集団指導は、その回数も記入する（４）その他の指導（管理栄養士養成施設学生、栄養士養成施設学生等への指導、地域からの依頼を受けて行った講演や指導など）はその対象、内容及び回数、延べ人員を記入する（５）健康・栄養情報の提供を行った場合は、対象及び情報提供の方法の該当する項目を選択する |
| 給食管理の状況について | 　各質問項目に対し、該当すれば**○**印、該当しなければ**×**印を記入する |
| 非常時の対応 | 各マニュアル等の有無を選択し、有の場合は内容を記入する |
| 食育、健康支援、栄養管理に関する課題や取り組み等 | 施設の健康課題と改善の取り組みや給食を通じた健康づくりの取り組み等について記入する（例）・肥満者が多いことが課題で年1回産業医の講演による啓発を実施している　　 ・食堂でヘルシーメニューを毎日提供している　　 ・毎月、給食だよりを作成し配布、食堂に掲示している |